

## ◆ 今週のコメント

- ・ **梅毒**の報告が1例(20歳代女性)あり、本年の累積報告数は40例となっています。昨年1年間の報告数38例を上回っています。  
梅毒の感染経路や治療、予防等に関して「梅毒に関するQ&A」としてまとめられていますので、以下のホームページを御覧ください。  
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」  
[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は6.24(262例)となり、前週 5.57(234例)から増加しました。3週連続で報告数が増加しています。例年、11月から12月にかけて報告数の増加する傾向がありますので、手洗いの励行などにより感染を予防しましょう。  
予防方法等詳細については下記URLをご参照ください。  
○保健医療課ホームページ「感染性胃腸炎に注意！」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000046226.html>
- ・ **流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は1.07(45例)で、本年1月から過去5年平均値を上回り、依然として高い値で推移しています。

## ◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

- ・ 京都市における第44週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.13(9例)となりました。過去5年間の同時期と比較して、最も多い報告数となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 4例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)喀痰塗抹陽性 なし  
【1月以降の累積報告数 287例(肺結核 152例, その他結核 64例, 潜在性結核感染者 71例)うち喀痰塗抹陽性 71例】
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症 3例(第41週追加報告分1例・第42週追加報告分2例)【1月以降の累積報告数 26例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(第43週追加報告分)【1月以降の累積報告数 23例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例(第42週追加報告分2例・第43週追加報告分1例)【1月以降の累積報告数 64例】
- ・ 五類:梅毒1例(早期顕症)【1月以降の累積報告数 40例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点42, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.13	9
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.24	262
	② 流行性耳下腺炎	1.07	45
	③ RSウイルス感染症	0.86	36
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	23
	④ 手足口病	0.55	23
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

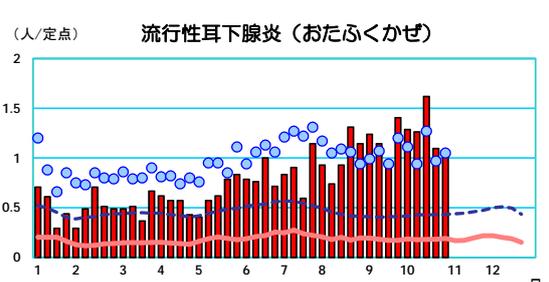
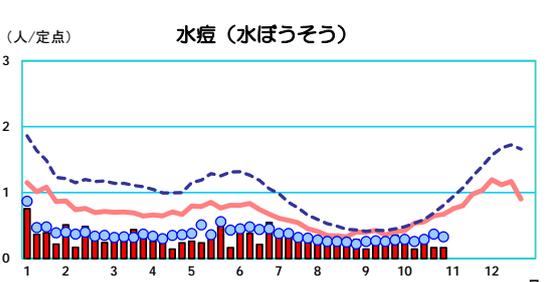
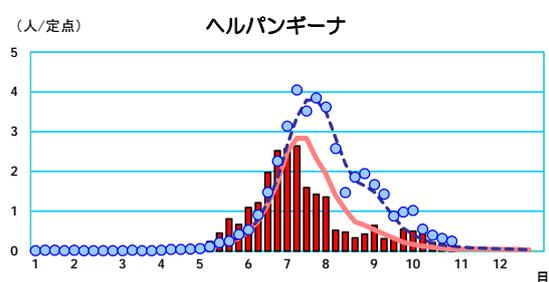
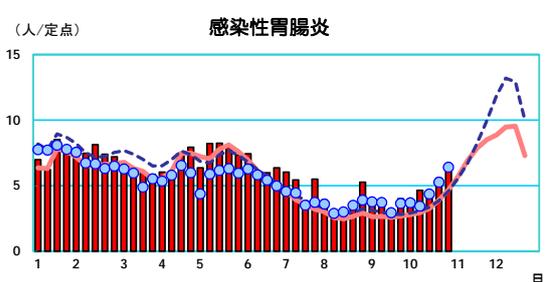
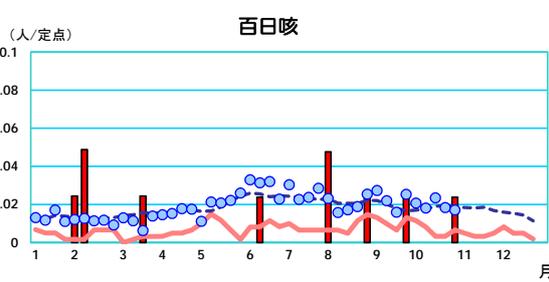
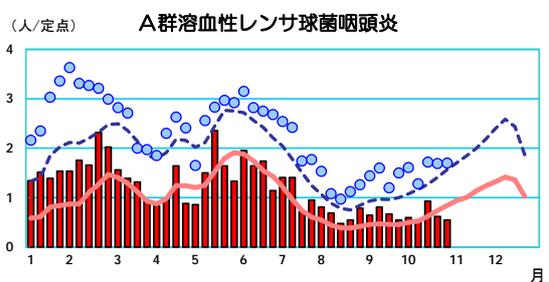
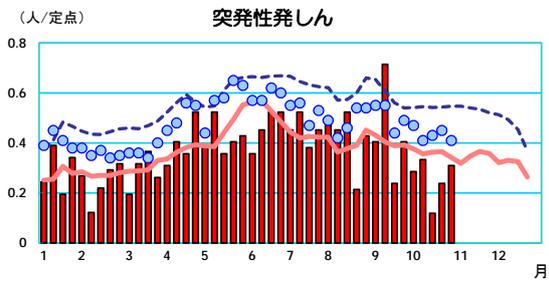
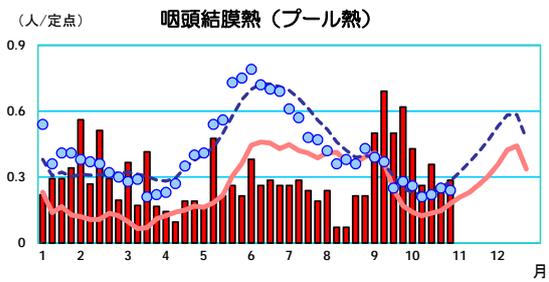
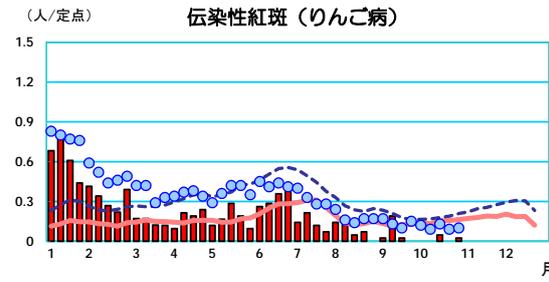
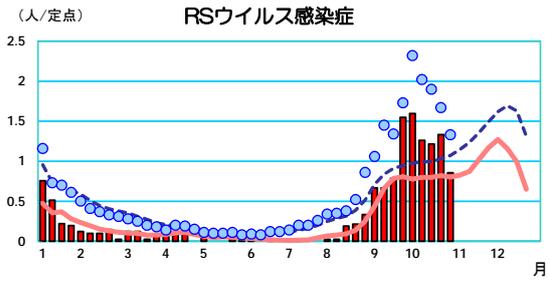
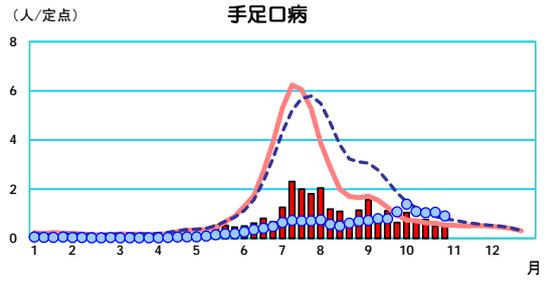
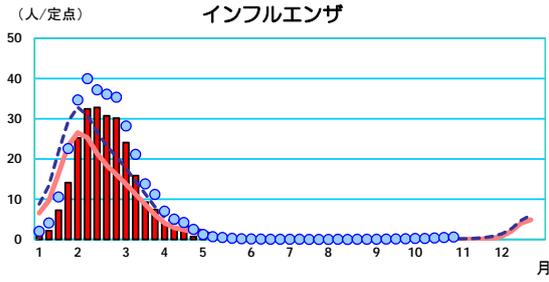
### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成28年11月9日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



## 第44週(10月31日～11月6日)トピックス: <インフルエンザ>

### 京都市及び全国の発生動向

京都市における第44週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.13(9例)となりました(図1)。過去5年間の同時期と比較して、最も多い報告数となっています(図2)。全国でも報告数が増加しており、過去5年間と比較して多い状況が続いています(図3)。都道府県別では、3つの県で流行期入りの目安とされる「1」を超えており(図4)、34都道府県で前週よりも増加しました。全国的に例年と比べて早く増加する傾向が見られるため、今後の発生動向に注意が必要です。

### 症状

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。潜伏期間は1～3日間で38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが現れ、咳、鼻汁などの呼吸器症状が続きます。通常、約1週間で軽快しますが、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いことが特徴です。また、小児や高齢者、免疫機能が低下している患者では、肺炎や脳症等、重症化することがあります。

### 予防

咳エチケット(マスクをしたり、咳をする際にティッシュやハンカチで口を覆う)を心掛け、流水・石鹸による手洗いを励行しましょう。また、インフルエンザワクチンの接種は発症の阻止や重症化予防の効果が一定程度認められています。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

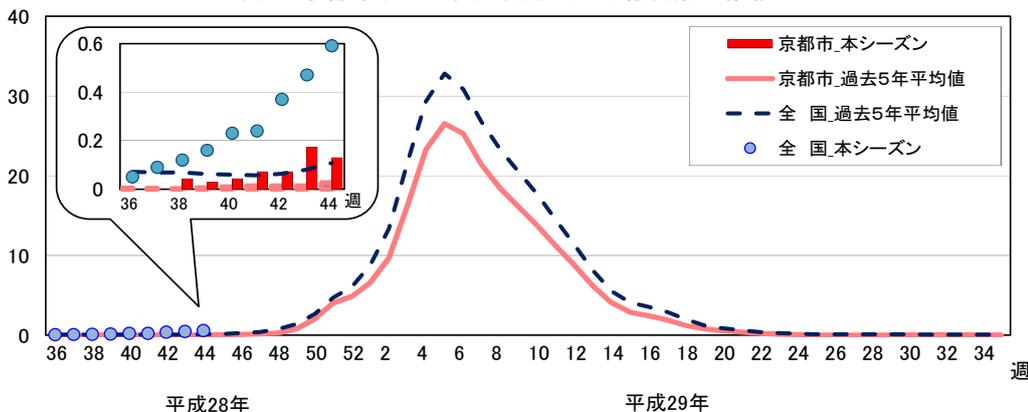


図2 京都市の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

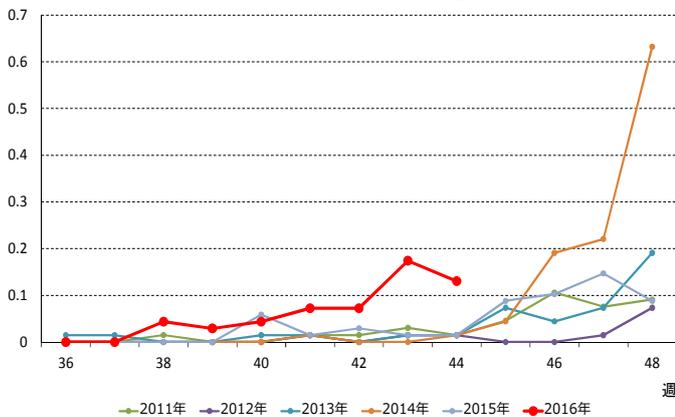


図3 全国の定点当たり報告数の推移(2011年以降)

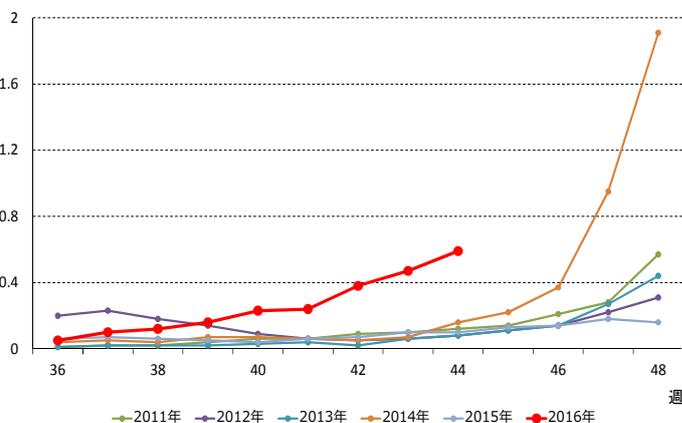
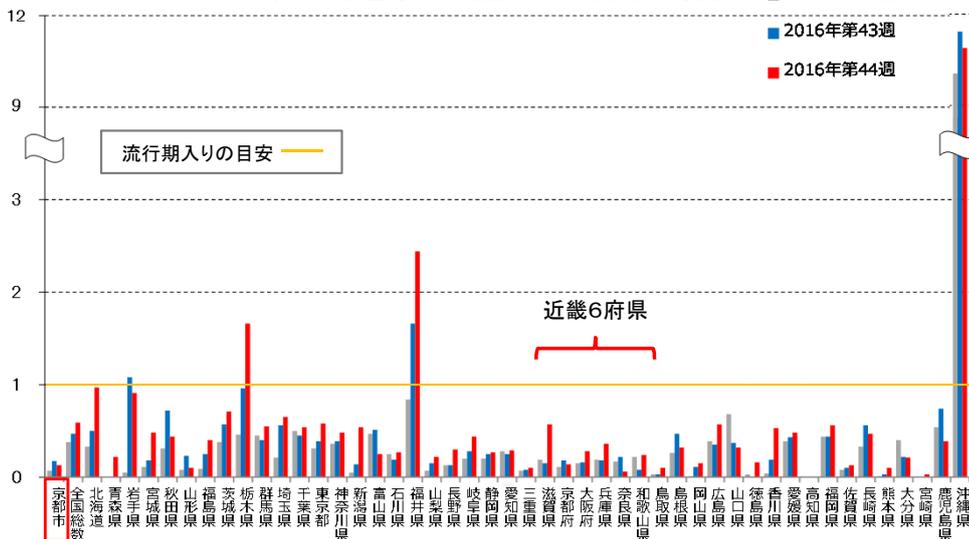


図4 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第44週

疾病,行政区別報告数

平成28年10月31日～平成28年11月6日

データ入手日:平成28年11月9日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	2	1	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
上京	1	1	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	2	-	2	39	2	2	-	2	-	2	2	-	-						
中京	1	2	-	1	13	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	5	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	4	-	3	1	1	5	-	2	-	-	11	-	-						
下京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	4	1	11	-	1	-	2	-	1	6	-	-						
右京	2	4	3	8	55	-	7	-	6	1	2	11	-	5						
伏見	2	12	2	1	67	1	5	1	1	-	4	7	-	-						
西京	1	4	-	4	54	1	1	-	-	-	-	6	-	-						
京都市計	9	36	12	23	262	7	23	1	13	1	9	45	-	5	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	0.50	0.25	-	1.00	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-						
上京	0.20	0.33	0.67	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	0.50	-	0.50	9.75	0.50	0.50	-	0.50	-	0.50	0.50	-	-						
中京	0.20	0.67	-	0.33	4.33	0.67	0.67	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2.50	-	0.50	8.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	1.00	-	0.75	0.25	0.25	1.25	-	0.50	-	-	2.75	-	-						
下京	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	1.33	0.33	3.67	-	0.33	-	0.67	-	0.33	2.00	-	-						
右京	0.25	0.80	0.60	1.60	11.00	-	1.40	-	1.20	0.20	0.40	2.20	-	5.00						
伏見	0.18	1.71	0.29	0.14	9.57	0.14	0.71	0.14	0.14	-	0.57	1.00	-	-						
西京	0.13	0.80	-	0.80	10.80	0.20	0.20	-	-	-	-	1.20	-	-						
京都市計	0.13	0.86	0.29	0.55	6.24	0.17	0.55	0.02	0.31	0.02	0.21	1.07	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年10月31日～平成28年11月6日

データ入手日:平成28年11月9日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	2	1	-
RSウイルス感染症	年齢3	36	6	7	15	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		12	-	-	-	2	-	3	1	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	-	-	1	-	4	2	1	1	2	1	3	7	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		262	3	11	36	24	37	24	29	18	13	9	6	17	6	29	-	-	-	-	-	-
水痘		7	1	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		23	-	2	9	6	2	4	-	-	-	9	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	6	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		9	-	2	1	3	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		45	-	-	1	-	3	10	7	7	2	3	6	2	1	3	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.06	-	0.01	-	0.03	0.01	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.86	0.14	0.17	0.36	0.14	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.29	-	-	0.05	-	0.07	0.07	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.55	-	-	0.02	-	0.10	0.05	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	0.17	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.24	0.07	0.26	0.86	0.57	0.88	0.57	0.69	0.43	0.31	0.21	0.14	0.40	0.14	0.69	-	-	-	-	-	-
水痘		0.17	0.02	-	-	-	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.55	-	0.05	0.21	0.14	0.05	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.31	-	0.14	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.21	-	0.05	0.02	0.07	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1.07	-	-	0.02	-	0.07	0.24	0.17	0.17	0.05	0.07	0.14	0.05	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.20	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年11月9日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		2	3	5	5	12	9
RSウイルス感染症		65	67	53	51	56	36
咽頭結膜熱		26	18	11	15	11	12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		23	25	23	39	26	23
感染性胃腸炎		168	148	195	176	234	262
水痘		15	12	6	11	7	7
手足口病		27	44	30	32	21	23
伝染性紅斑		-	-	-	2	-	1
突発性発しん		17	12	14	5	10	13
百日咳		1	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ		23	21	19	9	7	9
流行性耳下腺炎		59	54	53	68	46	45
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		7	5	3	4	1	5
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		434	409	412	417	431	446

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.03	0.04	0.07	0.07	0.17	0.13
RSウイルス感染症		1.55	1.60	1.26	1.21	1.33	0.86
咽頭結膜熱		0.62	0.43	0.26	0.36	0.26	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.55	0.60	0.55	0.93	0.62	0.55
感染性胃腸炎		4.00	3.52	4.64	4.19	5.57	6.24
水痘		0.36	0.29	0.14	0.26	0.17	0.17
手足口病		0.64	1.05	0.71	0.76	0.50	0.55
伝染性紅斑		-	-	-	0.05	-	0.02
突発性発しん		0.40	0.29	0.33	0.12	0.24	0.31
百日咳		0.02	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ		0.55	0.50	0.45	0.21	0.17	0.21
流行性耳下腺炎		1.40	1.29	1.26	1.62	1.10	1.07
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	0.50	0.30	0.40	0.10	0.50
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.82	10.09	9.99	10.19	10.23	10.92

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。